


人工関節置換術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

担当看護師：

項目	月日		／ ～ ／				／ ～ ／	
	入院：手術2～3日前		手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目～2日目	手術後3日目～15日目	退院：手術後16日目
達成目標	・手術について理解できる ・痛みによる苦痛がない			・痛みによる苦痛がない ・脱臼を起こさない ・深部静脈血栓症を起こさない ・腓骨神経麻痺を起こさない		・痛みによる苦痛がない ・脱臼を起こさない ・深部静脈血栓症を起こさない ・腓骨神経麻痺を起こさない ・リハビリテーションの必要性を理解し実施できる ・歩行または車椅子に乗ることができる		・退院指導内容を理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・薬剤師が持参された薬を確認します。また、薬は変更または中止になる場合がありますので、全て看護師が預かります ・手術前日までに歯科受診があります ・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので我慢せずにお知らせください		・服用する内服薬は看護師がお渡しします ・手術が2番目以降の方は病棟で点滴をします	・創部に管が入った状態で帰宅します ・心電図モニターをつけます ・深部静脈血栓症予防の目的でフットポンプをつけます ・抗生剤の点滴をします ・自己血貯血をされた方は、自己血を輸血します ・点滴と背中（硬膜外）の管から痛み止めを入れます。痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので我慢せずにお知らせください		・心電図モニターを外します ・抗生剤の点滴があります ・医師の指示で持参薬を再開します。また、新たに鎮痛剤の内服が始まります ・自己血貯血された方は自己血を輸血します ・創部が見えるフィルム剤を貼付します ・創部の管と背中（硬膜外）の管を抜きます ・歯科受診があります ・ベッドサイドでリハビリを行います	・点滴を抜きます ・創部のフィルム剤は手術後11日～14日に剥がします ・医師の許可後にフットポンプを外します ・安静解除後には、リハビリテーション室に行き、リハビリテーションを行います	
検査	・身体測定 ・採血 ・レントゲン			・採血		・採血（手術後1日目・4日目・7日目・14日目） ・レントゲン（手術後7日目・14日目）		
活動・安静度	・制限はありません			・ベッド上安静です。寝返りは、看護師がお手伝いしますのでナースコールでお知らせください		・創部に管が入っている間は、看護師がベッドのリクライニング操作を行います。ベッドの角度を変えたい時は、ナースコールでお知らせください ・創部の管が抜けたあとは、歩行器または車椅子での移動が可能になりますが、必ず、看護師が付き添いますのでお知らせください ・医師の許可後は、歩行器歩行、車椅子移乗が可能となります ・寝返りをするときは、股関節がねじれやすいため、大きめのクッションを足の間に挟んでください		
食事	・制限はありません	・夕食後は、麻酔科医が指示した時間から飲食できません	・飲食できません	・医師の許可後は、飲水できます		・常食や治療食が始まります		
清潔	・制限はありません	・シャワー浴をしてください ・肺炎予防のため歯磨きをしてください		・シャワー浴や体拭きはできません		・体拭きをします。創部の管が抜けた後、主治医の許可が得たらシャワー浴ができます。必要時、看護師が介助します ・洗髪をします ・肺炎予防のために歯磨きは必ず行ってください。必要時、看護師が介助します		
排泄				・手術中に尿の管が入ります ・排便は、ベッド上で行います。看護師が介助しますので、ナースコールでお知らせください		・創部の管が抜けたあとに尿の管を抜きます。トイレには看護師と一緒に移動しますので、ナースコールでお知らせください。医師の許可後は、一人でトイレまで移動できます		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・主治医より手術の説明があります ・麻酔科医より麻酔について説明があります ・手術室の看護師から手術に伴う確認事項や諸説明があります ・手術・麻酔・輸血の同意書を確認します ・手術に必要な物品を揃えます ・マニキュアを落として爪を切ってください ・病棟看護師が手術入室時間・手術時間等について説明します		・必ず化粧を落としてください ・指輪、ピアス、義歯、コンタクトレンズ、時計等の貴金属類や湿布を外してください	・主治医より、手術の経過について説明があります ・麻酔が切れてくると徐々に足が動くようになってきます。深部静脈血栓症予防のため足首の底背屈運動をしましょう ・床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう		・股関節をねじることなく真っ直ぐに身体を保持し、脱臼に注意しましょう ・深部静脈血栓症予防のために水分をとり、足の底背屈運動を心掛けましょう ・主治医の許可があるまで弾性ストッキングは履き続けます ・履きなれた靴を正しく着用し転倒・転落予防に努めましょう ・創部の違和感や熱感、出血や腫脹がある時は、直ぐに医療者へ伝えてください		

【退院後の生活について】
（食事について）
・体重が増加することで人工関節に負担がかかるため、標準体重を越さないように気をつけましょう[標準体重=(身長-100)×0.9]
（排泄について）
・股関節に過重をかけないために、洋式トイレを使用しましょう。和式トイレの場合は、簡易設置洋式トイレを準備すると良いでしょう
（入浴について）
・かがみ込み姿勢は、転倒や股関節脱臼の危険性がありますので、椅子に腰をかけて身体を洗ってください。足先は、柄の長いブラシで洗いましょう。石鹸類の置き場所は、椅子と同じ高さにしましよう
（活動について）
・股関節を深く曲げる正座や前屈、しゃみこむ動作は、股関節脱臼につながりますので避けてください
・寝返りをするときは、股関節がねじれやすいため、大きめのクッションを足の間に挟んでください
・股関節を深く曲げられる時期については、外来受診時に医師にご相談ください
・仕事や車の運転、スポーツや雑巾がけ、浴室などの掃除は、外来受診時に医師に許可を得て開始してください

【以下の症状がある時は、病院へご連絡ください】
・38℃以上の発熱
・股関節周囲の疼痛、傷周囲の発赤や腫れ
・股関節周囲の激痛で歩行困難となる
・手術した方の足の長さが短くなる（脚長差）

緊急連絡先
月～金 時間内（8：30～16：30） 整形外科外来：0985-85-9885
土・日・祝日 時間外（16：30～8：30） 2階東病棟：0985-85-1743



*この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです諸所の理由で経過通りに行かない場合もありますことをご了承ください